

# 道しるべ

第48号

# 『春』

雪が解けたら水になります…  
雪が解けたら春になります…(笑)

撮影：森 正廣 2018.2.25

🌸🌸 雪が解けて川になって流れていきます (^\_^)♪  
つくしのこがはずかし気に顔を出します♪  
もうすぐ春ですねちょっと気取ってみませんか～

懐かしい青春時代の歌、「春一番」キャンディーズですね～  
いまからもう、何十年前の…(-\_-)



朝晩は、まだまだ寒い日が続きますが、次第に日中は温かさを感じる時期になり、雪や氷が解け寒さが次第に緩み草木が萌え芽ぐみ、最も気候の良い過ごし易い穏やかな季節を迎えます。

3月6日は、「啓蟄の日」暦の上では春です。

3月21日は、「春分の日」昼と夜の長さが同じになる日。



やっと、待ち遠しかった春が来ます。  
春夏秋冬を色に例えることがあります。  
春は青(青春) 夏は朱(朱夏) 秋は白(白秋) 冬は黒(玄冬)  
青春とは、人生における若く未熟で、しかしながら元気で力あふれた時代。  
もうかなり昔の青春(;▽;)、…もう一度青春を取り戻し、  
「ワクワク・ドキドキの気持ちで」

重いコートぬいで出かけませんか～🌸(^\_^)♪  
お～ととと、ブレーキ！ブレーキ！「車にも心にも」(´艸`)

# 道の上の三つの坂

車に求められる性能とは、運転者が思うように「**進める・曲がれる・止まれる**」ことです。路面状況が瞬時に変わったとしても、その場でできることは運転者が運転行動をそのつど変えることです。

結婚披露宴で用いられる定番スピーチのひとつに「**人生には三つの坂がある**」との表現があります。それは人生には「**上り坂**」と「**下り坂**」と「**まさか!**」があるという話。道路にも三つの坂があり、同じく「**上り坂**」と「**下り坂**」と「**まさか!**」です。その「**まさか!**」の事態にも対応できるように予測を心掛けましょう。



特に雪の上においては「危険を発見できた段階では回避できない」と考えて、一つ先の状況や危険を読む運転行動に切り替えましょう。危険を「**深く・多く・早く**」発見するために「**予測以上の連想**」により危険を回避しましょう。

運転時には、通常以上の車間距離を確保しブレーキを踏まなくても停まれるような早めのアクセルオフで、アクセルもブレーキも使わない「**究極のエコドライブ走行**」と同レベルの「**走り方と停まり方**」を実践しましょう。



一時停止

降雪や積雪への対策として、出発点呼時には気象条件や道路情報を収集して、運行経路の選択と運行計画を確認しましょう。フロントガラスが凍結時には、部分的な除去しかせず視界が狭い状態ではなく、十分に氷を除去することで、死角を増やさないようにしてから運行を開始しましょう。



道路は生き物であり、同じ道でも通行するたびに環境が変化しています。つまり、天候(上)と路面(下)と交通量(横)の確認と、対処が求められます。特に天(天候)と地(路面)の情報収集と状況判断によって、**運転者のその後の人生に天と地ほどの差が出てしまいます。**

「運(天)が悪いから事故を起こした」ではなく「運(天)に関係なく事故を起こさないための地道な準備と方法」を実践し続けることが、四季を通じて無事故を継続するための唯一の道です。平常時の無事故だけでなく降雪や積雪などの異常時にも柔軟に手順を変えつつ、同じ結果(無事故)を出し続けるのがプロドライバーの仕事です。

また、積雪時の除雪作業は幹線道路を優先して実施される為、早朝の納品時には施設の構内は除雪作業が未実施の場合が多く、構内では「**バック事故**」の増加が懸念されます。その理由として、接車時にバックモニター頼りでは、モニターに映る光景は雪山にしか見えず、その雪山と駐車されていた白い車体の車が同化していれば、発見や対処を鈍らせてしまいます。

寒くても、暗くても、下車して歩いて確認を。雪の日は道の上だけでなく、構内にも「**まさか!**」が潜んでいます。



※参考資料「運送・物流会社の管理者のための安全・品質向上講座」より抜粋